

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2014/10/28



「ゴミは誰かが自分勝手に捨てる。しかし捨てる人も捨てるのだから、何んでもいふことが、捨てる人が少ない。それをも黙って捨てる人は心の教育として自分のために捨てるのだ。必ず、この人には、

「所作」を教えるよりも

「心」を教えるほうが難しい

平成二十六年十月二十八日
 柏井保育園の
 年長組が公園の
 ゴミ拾いに貢献

天が味方
 すまので
 す。自然の天
 地も汚す
 人には必
 ず罰が
 下る。
 見栄え
 がどうとか
 どうすれば
 綺麗と
 かそんな
 余計なこ
 とに囚わ
 れか、ひた
 すう真か
 がしていることば
 打ち込む。心が一つになる。



2014/10/28



2014/10/28

子ども達の頃の体験は
 豊かな人達の
 基礎盤になります。
 子どもの頃の体験が
 豊富な人は大人
 にはそこからなどの
 資質、能力が高い
 傾向があります。
 また、そうした子ども
 の頃の体験が豊富
 な人は、現在の年
 収が高く、一ヶ月に読
 む本の冊数も多く
 なる傾向にあります。
 地域清掃に参加した
 こと(子どもの頃)
 多く参加30%
 少ない10%
 何でもやらせてみて
 多い30%

子ども達はゴミ
 を拾うのに
 夢中です。この
 心が大人にな
 りても継続で
 きますか。
 ゴミをポイ
 と捨てる、
 そのあと、
 みんなそこに
 捨てる。
 公園街中も、
 いつも綺麗に
 掃除が行き届
 いてるところは、
 不思議といフ
 までも汚れない



2014/10/28



2014/10/28

子ども達にとってはゴミ拾いは
 宝物探しとおなじです。